

平成26年7月10日

各 位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤 紳勝
(コード番号：6788 東証第一部)
お問い合わせ先
執行役員 経営企画部長
田原 周夫
(TEL：06-6456-4600)

連結子会社TrimGen Corporation社製品の日本での販売開始に関するお知らせ

記

平成26年7月より、連結子会社TrimGen Corporation社（トリムジン・コーポレーション、本社：米国ボルチモア、James Wang社長）製品を日本で販売開始する事となりましたのでお知らせいたします。

詳細につきましては添付資料「TrimGen ニュースリリース」をご確認ください。

なお、本件に関するお問い合わせにつきましては下記連絡先までお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トリムジン ホールディングス
代表取締役社長 清水 崇文

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5
TEL. 06-4256-8288 / FAX. 06-4256-8286

以上

2014年7月10日

各 位

株式会社トリムジン ホールディングス
 代表取締役社長 清水崇文
 お問い合わせ先
 管理部門 坂本好美
 (TEL: 06-4256-8288)

遺伝子変異・多型解析キット及びDNA抽出キットの日本販売開始に関するお知らせ

1. (株)トリムジン ホールディングスについて

(株)トリムジン ホールディングス(資本金:5億3,543万円、本社:大阪市北区梅田3-4-5)は、1999年に米国メリーランド州、ボルチモアに設立された、遺伝子検査キットの研究開発、製造販売を行うTrimGen Corporationの持株会社機能及び遺伝子関連事業を目的に2007年に設立された会社です。遺伝子検査は、患者さん個々の状態に応じて、薬剤の選択や投薬量をコントロールするという所謂「個別化医療(Personalized medicine)」分野において、近年注目が高まって来ています。

当社はこの度、TrimGen Corporation社独自の技術で開発し、既に米国の臨床検査ラボにおいて、多くの利用実績を持つ研究用遺伝子変異・多型解析キット「Mutector II (Mutation detection kit)」及び従来法に比べ5~10倍の量のDNAを抽出できるキット「WaxFree」を、2014年7月より、試薬販売大手である、フナコシ株式会社より販売開始しますのでお知らせ致します。

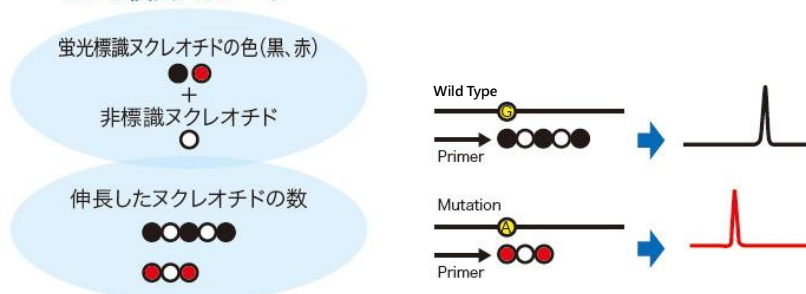
※ フナコシ株式会社 <http://www.funakoshi.co.jp/>

2. 遺伝子変異・多型解析キット「Mutector II」

Mutector IIキットは、遺伝子検査における世界的なゴールド・スタンダードとなったライフテクノロジーズ社(現サーモフィッシュャー)のシーケンサー機器用解析キットで、世界的に普及している同機器上で、簡便にがん関連遺伝子探索、Genotyping(多型解析)を実行できるものです。Mutector IIは、TrimGen Corporation独自の技術である、Shifted Termination Assay(STA:多塩基プライマー伸長法)により、複数の遺伝子変異を高感度で正確に検出できる事が特徴です。

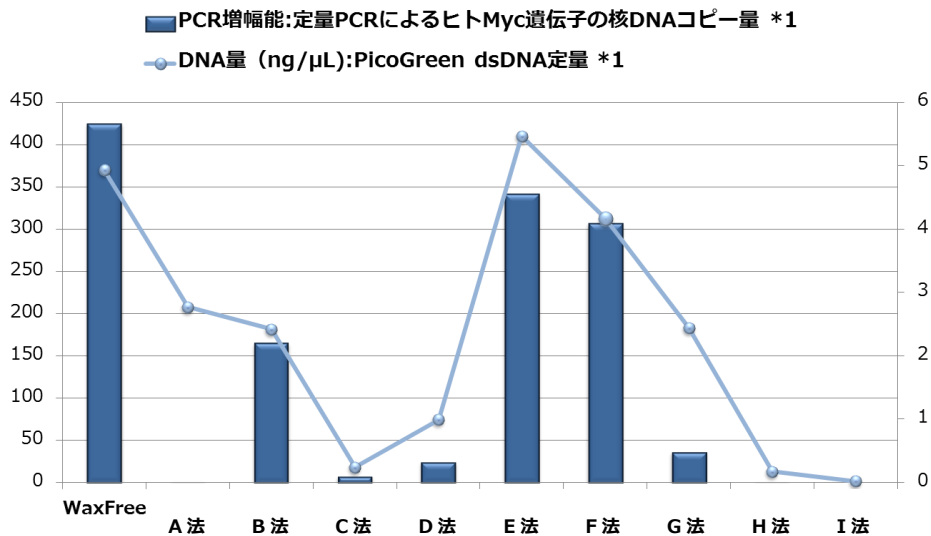
STA技術は、高感度で特異的変異が検出可能な独自のマルチサイクルプライマー伸長法です。プライマー伸長に修飾酵素を用い、検出用プライマーから蛍光標識合成ヌクレオチドを含む複数のヌクレオチドを伸長させることにより、シグナル強度とフラグメントの数を増大させます。蛍光標識ヌクレオチドの色(黒、赤、青)と伸長したヌクレオチドの数の2つの検出パラメータを組み合わせることで、複数のSNP情報の表現が可能となり、野生型と容易に区別できる変異ピークを作り出します。

2つの検出パラメータ



3. DNA抽出キット「WaxFree」

遺伝子検査を実施するために、臨床サンプルよりDNAを抽出します。この臨床サンプル（ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織）では、ホルムアルデヒドの固定により核酸及びタンパク質などの組織成分間のランダムなクロスリンクを引き起こし、DNAは断片化されるため、カラムやマグネットビーズの抽出法ではDNAの収量が大幅に低下します。この度「Mutector II」と同じくフナコシ株式会社にて販売を行うTrimGen Corporationが開発した「WaxFree DNA /RNA抽出キット」は、従来のカラムやビーズ結合法ではなく、特殊なレジソムと酵素ミックスによりPCR阻害因子を効率的に除去するため、DNAの損失を防ぎ、PCRの成功率を高めます（DNAの抽出量は従来法の5～10倍）。



*1: Okello JB., et al. Comparison of methods in the recovery of nucleic acids from archival formalin-fixed paraffin-embedded autopsy tissues. *Anal Biochem*, 400:110-117, 2010

*2: Turashvili G., et al. Nucleic acid quantity and quality from paraffin blocks: defining optimal fixation, processing and DNA/RNA extraction techniques. *Exp Mol Pathol*, 92:33-43, 2012

以上